

経営比較分析表（平成28年度決算）

岐阜県 瑞浪市

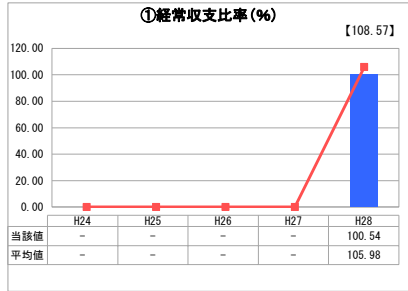
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	48.01	71.27	70.59	3,456

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
38,427	174.86	219.76
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
27,248	10.77	2,529.99

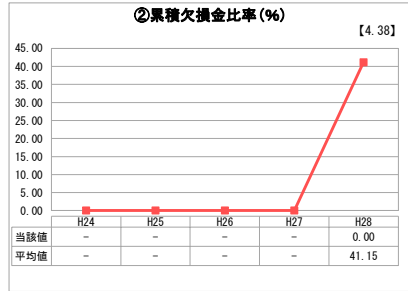
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

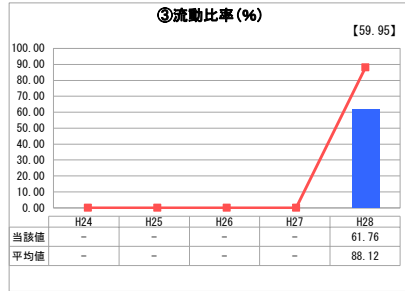
1. 経営の健全性・効率性



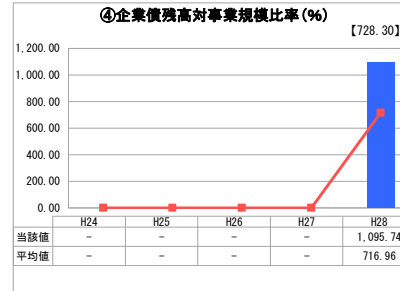
「経常損益」



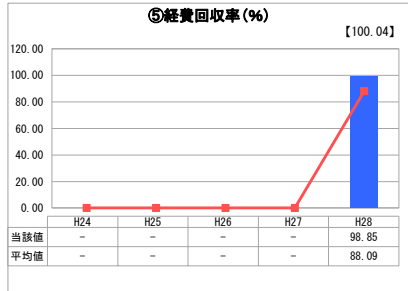
「累積欠損」



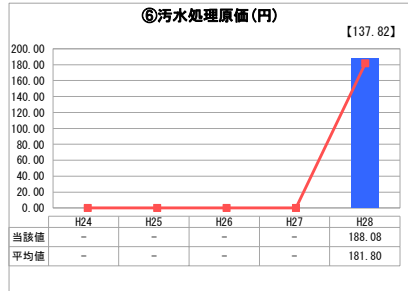
「支払能力」



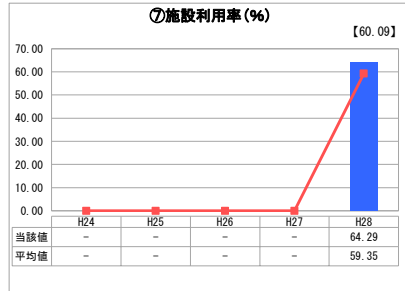
「債務残高」



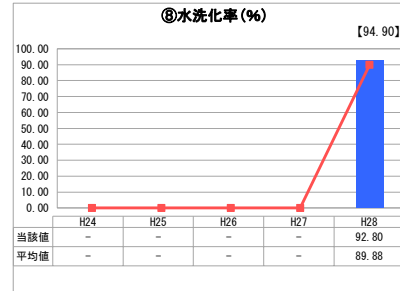
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

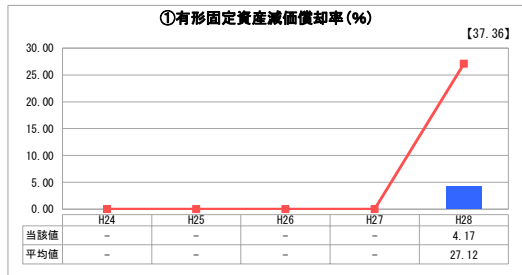


「施設の効率性」

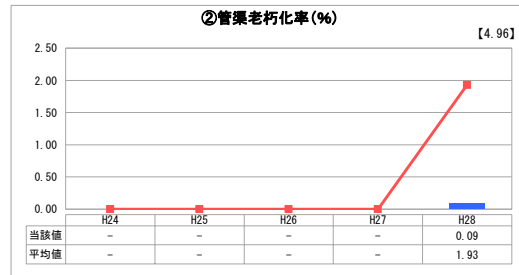


「使用料対象の捕捉」

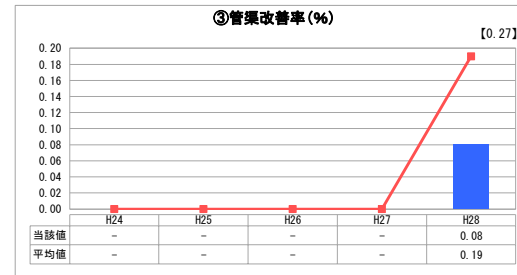
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

正確な経営状況の把握等を目的として、平成28年度から地方公営企業法を適用しました。経常収支比率及び経費回収率については、一般会計からの繰入により概ね100%であり純利益を確保しています。流動比率については、類似団体平均を下回っており、企業債の償還にあたり一般会計からの繰入金に依存している状況です。企業債残高対事業規模比率については、類似平均を上回っていますが、経営戦略に基づき今後の建設費を抑制することから、今後減少傾向が続くと想定しています。汚水処理原価については、類似団体平均を上回っており、地理的要因から汚水処理費が高くなっている状況であるため、経営戦略に基づき、維持管理費及び資本費の抑制に取り組む必要があります。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率及び管渠老朽化率は、類似団体平均を下回っており、施設の老朽化は比較的進んでいないと言えます。しかし、法定耐用年数を経過する管路が今後増加していくことから、ストックマネジメント計画に基づき、計画的な管路改築を実施する必要があります。

全体総括

現在の経営は安定している状況ですが、下水道使用料収入以外の収入である一般会計からの繰入金に依存している状況であり、今後の人口減少に伴い営業収益の増加は見込めないことから、経営戦略及びストックマネジメント計画に基づき、水洗化率の向上、維持管理費及び資本費の抑制に継続的に努める必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
 ※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。